



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 埼玉南部の集いin戸田」から ◎河川浄化について

<質問要約>

- ① 川を浄化する場合、EM 団子の投入量の目安はどのように考えれば良いのでしょうか？
- ② EM 団子が川底に溜まることはないのでしょうか？
- ③ どのようにしたらアユなどの魚が遡上するようになりますか？

<比嘉教授からのコメント>

- ① 汚染度によって違いますが、川の面積で1㎡あたり1個以上を目安とし、投入量が多いと浄化が早くなります。
- ② EM 団子は、川底のゴミやヘドロなどの有機物を分解して炭酸ガスと水にし、水棲生物のエサとなるアミノ酸を発生させます。ですから川底に溜まるどころか、ヘドロなどを減らしてくれ生態系を豊かにします。
- ③ EM の投入を継続していけば、生態系が豊かになりアユの遡上も実現します。

栃木県の株式会社レック EM 益子様と有限会社マキ工業様が、堆肥原料となる腐葉土に EM 散布を行ったところ、5 カ月で放射性セシウムが三分の 1 以下に低減するという結果が得られました。現在も継続して経過調査中ですので、今後さらに変化があった場合、追って紹介していく予定です。

【実験材料】 腐葉土 0.5 立米 (約 170kg)

【EM 処理】 1 回あたり 10L の EM 活性液を希釈せず施用。現在まで合計 8 回施用。

【分析結果】 以下の通り

試料採取日	分析結果	備考
平成23年 8月 9日	680 Bq/kg	EM 処理前
平成23年 11月 2日	490 Bq/kg	
平成23年 12月 12日	260 Bq/kg	
平成24年 1月 6日	190 Bq/kg	

※セシウム 137 とセシウム 134 の合計値

※NaI シンチレーションスペクトロメーター法で測定

※農水省による肥料・土壌改良資材の放射性セシウムの暫定許容値は 400 Bq/kg

◇◇◇◇◇ ご報告 ◇◇◇◇◇

1. 当 NPO 主催で 3 月 24 日に開催された「EM 活用交流会 in 牧之原」は、静岡県各地から 150 名以上にお集まりいただき、通路まで人があふれるほど盛況でした。
2. 翌 25 日は、「善循環の輪 千葉北部の集い in 印西」が開催され、400 名以上の方にご来場いただきました。ありがとうございます。

◇◇◇◇◇ お知らせ ◇◇◇◇◇

1. 善循環の輪 長野の集い in 上田
4 月 21 日 (土) 10 時 30 分～17 時 30 分、上田市文化センター大ホール、入場無料。
お問い合わせは Unet 事務局まで。
2. 比嘉照夫教授特別講演会 in 旭
4 月 28 日 (土) 14 時 00 分～17 時 00 分、千葉県東総文化会館・小ホール、入場無料・事前登録制 (定員 300 名)。お問い合わせは Unet 事務局まで。
3. EM 技術による究極の放射線対策～子ども達を守るために～
4 月 8 日 (日) 14 時～16 時、せんだいメディアテーク 1 F オープンスクエア、参加費 500 円、定員 300 名、詳細は主催団体の“おむすびの会”ブログ <http://tomiyanarita.jugem.jp/> をご覧ください。